

住友化学 i-農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第108号 平成25年12月27日
発行 住友化学(株) アグロ事業部
お客様相談室 0570-058-669
編集者 太田有香
発行責任者 稲葉 登志夫

年末特大号 目次

年末のご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 1

農家さん訪問記 (92) 【静岡・キャベツ】・・・・ p. 2

住友化学アグログループ

 TSPの取組みと住化ファームの紹介・・・・ p. 6

 住友化学アグログループ紹介 レインボー薬品(株)・・ p. 9

★新★害虫の名前を知る方法 その①・・・・ p. 10

今月の肥料紹介【スーパーSRコート・なす】・・ p. 12

今月のお奨め農薬【広食性害虫のオオタバコガの防除に】 p. 13

良い農産物の作り方を考える②・・・・・・・・ p. 15

農薬登録情報・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 17

農薬を正しく使おう！③・・・・・・・・ p. 17

ひまわり農園奮闘記⑨・・・・・・・・ p. 18

読者からのお便り「自慢のこの一枚」・・・・ p. 19

バーチャルトライアスロンの旅 vol.4・・・・ p. 21

★新★工場紹介【第1回 大分工場】・・・・ p. 22

 【お知らせ】農薬セミナー開催報告&次回は大阪！ p. 24

通販のご紹介（日本エコアグロ(株)）・・・・ p. 25

ゆく年くる年・・・・・・・・ p. 26

編集後記・・・・・・・・ p. 28



シロハラ (ツグミ科) とカンボク (スイズラ科)
富樫 信樹 画



年末のご挨拶

住友化学(株) アグロ事業部 普及部長 黒田芳一

本年も「i-農力だより」をご愛読いただき誠にありがとうございました。

皆様の農業生産にご活用いただける情報をお届けできるようスタッフ一同鋭意専心して作成にあっておりますが、お役に立っていますでしょうか？i-農力だよりもお陰様で今年の4月号が100号となりました。毎年実施しておりますアンケートで皆様から多くの貴重なご意見、ご指導また励ましをいただいた賜物と思っております。

さて、この一年はこれまでに経験したことのないような大雨や、40℃を超える酷暑が続いたりと気象変動が激しく農作物の生産に大変ご苦労されたかと思えます。また国内農業をとりまく環境はTPPへの参加や減反政策の見直しなど今後の日本農業の道筋を考える上で重要な年でもありました。



弊社は日本の農業を元気にするという旗印のもと、住化ファーム*による新しい農業技術の研究と地域への普及に取り組んでおります。この事業は今後も継続し、皆様にとってより身近な活動にしたいと思っております。また本業である農薬や肥料の研究・開発につきましても環境にやさしく、効果の高い薬剤の開発に注力して参ります。

私は日本農業の強みは、農家の皆さんが常に現状に満足せずに改善を進められることだと思っています。それぞれの地域でよりよい生産物をご提供されてきた歴史が強みになっているのです。今後の国内経済の発展とともに農業が生産物の供給にとどまらず、産業として人口増加と言う大きな課題を抱えている世界に対して確固たる地位を築き、国内経済を支える主力産業として発展するようこれからも微力ではございますが国内農業を応援させていただきたいと思っております。本誌を読まれるときは新しい年をお迎えのことと思っております。皆様並びにご家族にとって新しい年が馬のごとく飛躍の年となるようご祈念申し上げます。

※住化ファーム・・・住友化学が運営する農業法人。詳細は p.6 参照

[目次へ戻る](#)

農家さん訪問記(92)

創意・工夫でおいしいキャベツ作り

今回の農家さん訪問記は静岡県袋井市の鈴木隆彦さん(42歳)を訪問しました。袋井市は、静岡県西部に位置し、豊かに広がる田園地帯と美しい茶畑、さらには太田川や原野谷川、南には遠州灘と自然環境にも恵まれています。鈴木さんは太田川沿いの水田地帯で稲とキャベツを栽培していますが、今回はキャベツ栽培を中心にお話を伺いました。訪問した時には刈取りの終わった水田の中に青々としたキャベツ畑が点在していました。



新しくキャベツ栽培と稲の特別栽培に挑戦

鈴木さんは3年前に農業後継者として就農しました。それまでは会社員でバイクの開発(設計)をしていましたが、小さい時から家の手伝いをしていたので農業についてある程度の知識と経験はあったとのこと。鈴木さんは2年前にエコファーマーの認定を受け、またJGAP*)指導員の資格を取得しています。現在は中遠稲作研究会の会長であり、県主催の農業マネジメント講座の地区の世話人もしています。

*) JGAP(ジェイギャップ): 農業生産工程管理手法の1つです。農薬の管理、肥料の管理など、食の安全や環境保全に関する農作業について、明確な基準が定められています。

奥様の明日香さん(36歳)は結婚するまでは全く農業経験がなかったそうですが、農業はやってみると楽しいと話してください。鈴木さんの家族は奥様と子供さん3人(6歳、5歳、2歳)とご両親((父)吉彦さん(70歳)、(母)くり子さん(66歳))の7人家族です。



水田中のキャベツ畑



ご両親：吉彦さんとくり子さん

ご両親と鈴木さん夫婦の4人でほとんどの農作業を行っています。子供さんの子守りは主にお母さんのくりさんが担当しています。

パートはキャベツ収穫時に2人雇用していますが、来年はキャベツの作付面積増に伴って4人に雇用を増やすことを考えています。パートの人からは年間雇用の希望が出ていて、これについても検討中とのこと。

栽培面積は稲が40ha（うち、2haは特別栽培*）、キャベツが3haです。稲作面積が家族経営にしては大きいと思いましたが、袋井地区では稲作は20haあたりに一人が労働力の目安だそうです。

*) 特別栽培：「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」に従って、化学合成農薬および化学肥料の窒素成分を慣行レベルの5割以上削減して行う栽培。

戦後の間もない時期（祖父の時代）の稲作は「とにかく量を」の時代であり、お父さん（吉彦さん）の時代になって「おいしさと品質を求める」時代に変わってきました。鈴木さんは就農してから新しいことに挑戦したいとの思いで、キャベツ栽培と稲の特別栽培に取り組みました。農作業は一家総出で行いますが、キャベツ栽培と稲の特別栽培は鈴木さんが責任者、通常の稲作は父親の吉彦さんが責任者になっています。

工夫しておいしいキャベツ作り

キャベツはホールクロップサイレージ*（以下、WCS）稲との二毛作で栽培しています。WCS稲は畜産農家からの受託栽培で5月に田植えし、収穫は8月末です。WCS稲は窒素分を通常栽培の半分に抑えて栽培します。稲の刈取り機が早く田に入れるように8月前半から水を落とします。刈取りは畜産農家自身が行うそうです。二毛作栽培のため、稲の刈取り後すぐに田を耕起・畦立てして、9月初めにはキャベツを定植します。（今年は9月5日に定植）

*) ホールクロップサイレージ：稲やとうもろこしのように子実をとることを目的に作られた作物を、繊維の多い茎葉部分と栄養価の高い子実部分を一緒にして密閉して発酵させた飼料

就農1年目のキャベツは加工用キャベツを中心に1ha栽培しました。生食用キャベツをスーパーなどで販売するためには玉揃い（大きさや形を揃える）の必要があるため、生産効率が悪いことから加工用キャベツを考えたそうです。2年目には2ha、3年目の今年は3haに作付面積を増やしました。生食用キャベツを徐々に増やしています。



収穫間近のキャベツ

鈴木さんのキャベツは「食味重視」の観点から色々と工夫を重ねています。例えば、稲作の裏作に合った品種を選ぶため、今年は15品種栽培をしています。（我々が見学した区画だけでも6品種が栽培されていました）また、加工用として好まれる甘さを求めて、はちみつを散布するなどの工夫をしています。また工夫は栽培技術だけではなく、パートの身障者の方が作業しやすいように畝と畝の幅を通常よりも広く70cmにすると工夫もしています。

現在のキャベツは稲作の後作として「水はけが悪く硬い土質」で栽培しているため、「葉がつまった玉が小さい」ものができます。甘みがあることで「餃子の具」として非常に喜ばれているそうです。

キャベツの収穫は11月中旬から始まり、3月初めまで続きます。甘さが乗るのは12月上旬から2月末で、特に12月下旬は甘さとジューシーさで最もバランスのとれたおいしさとのこと。圃場見学時に試食したキャベツは本当に甘かったです。家族写真を撮るためにキャベツ圃場に来た鈴木さんの子供さん3人もキャベツのおいしさを知っているので、3人とも一目散にキャベツに走り寄り、鈴木さんに切ってもらったキャベツを本当においしそうに食べていました。嬉しそうに食べる子供さんの姿をみて、子供さんは正直だなと感心しました。



おいしそうにキャベツを食べる子供さん

キャベツの販売は主に直売所とスーパーで行っていますが、今後ネット販売（農家直送オンラインショップ：ショップ名「水月」）を増やしたいと考えています。レストラン向けの販売は集荷業者経由です。なお、特別栽培米は主に直販です。

キャベツの主要害虫はコナガ、ハイマダラノメイガ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、アオムシ、オオタバコガ、タマナギンウワバ、アブラムシ類などですが、鈴木さんは次のような殺虫剤で体系防除をしています。作用性の違う薬剤をうまく組み合わせていることに感心しました。

- ① プレバゾンフロアブル…… 育苗後期～定植当日の灌注処理
- ② パダンSG水溶剤 …… 散布
- ③ ファルコンフロアブル …… 散布
- ④ ダントツ水溶剤 …… 散布
- ⑤ プレオフロアブル …… 散布
- ⑥ オルトラン水和剤 …… 散布

やりがいはお客様のおいしいという評価

鈴木さんの重視していることは品質（おいしさ）です。そして、毎年よりおいしいものを作れるように進歩することを課題にし、現状に甘んじないことを心掛けています。鈴木さんの座右の銘は「農業は少人数で変えられる」です。つまり、工業製品の改善には多くの人の協力が必要ですが、農業は個人の工夫と努力でより高い品質のものを作れるとの考えです。お客さんから「おいしい」と評価されることがやりがいとのこと。お客さんがキャベツを買うために畑まで訪ねてきてくれることがあるそうですが、非常にうれしいそうです。

夢と今後の検討課題は

将来の夢は米の輸出とおいしいキャベツを贈答品として利用していただくことです。「コメの輸出」については、昨年中国を訪問し、輸出のための情報を収集することを同業者40名で計画していましたが、おり悪く日中関係が悪化したため中止となってしまったそうです。キャベツについては、メロン並みの糖度のキャベツが作れるので、贈答用メロンに替わってキャベツが贈答用に

使われるようになることを夢見ているとのことでした。

お父さんの吉彦さんからは、TPPへの参加によって今後、日本の農業はどうなっていくのか、どうしていくのが良いのか非常に不透明であるとの話、また、「法人化」は検討すべき対策のひとつであると考えているが色々な条件もあり簡単ではないとの話がありました。

鈴木さんは後継者については、子供さんはまだ小さいですが、農業が好きな様子なので大丈夫だろうと明るい期待をしています。



鈴木隆彦さんご一家

最後に鈴木さんご夫妻の趣味について伺いました。鈴木さんはバイク旅行と家族で行く温泉です。バイクでの日本一周の目標をたて、これまでに本州、四国、九州を走破しています。ご家族ができてからはなかなか行けなくなりましたが、残る北海道と沖縄の制覇という希望が活力のひとつになると言っておられました。明日香さんはビーズアクセサリーとベジタブルアレンジメント（収穫した野菜をデザイン）が趣味です。趣味ではありませんが、明日香さんは隆彦さんと一緒にご旅行された時に感動したという讃岐うどんが大好きとのことでした。

今回取材した鈴木さんご家族からは農業大好きと円満な家庭の暖かさを感じました。お忙しい中、貴重な時間を割いていただきありがとうございました。

(鳥取、藤田)



[目次へ戻る](#)

いつも、どこでも、農業と。

住友化学アグログループTSPの取組みと住化ファームの紹介

第3回 (株)住化ファームおおいた

ご紹介の前に・・・住友化学アグログループは次の一歩へ

化学と農業。一見結びつきにくい2つの言葉は、実は住友化学の歴史の中で重要な位置を占めています。なぜなら100年前、銅製錬で排出されるガスによる煙害を解決するため、その原因である亜硫酸ガスから肥料を生産したことが事業の出発点だからです。住友化学は肥料の製造により煙害の解消と食糧増産に貢献するという理念から事業を開始して以来、農薬事業をはじめ、種子・苗、肥料、その他の農業資材事業を展開し、日本の農業と共に発展して参りました。

昨今の農業を取り巻く環境変化*を目の前にし、今こそ肥料・農薬の製造・販売など幅広く手がける住友化学グループの力を結集し、もう一歩踏み込んでみよう、自らの手で新しい変化を生み出そうと考えています。そのための手段が、自らが「**TSPとなること**」であり、**農業法人「住化ファーム」**の設立でした。

*耕作面積の減少・生産者の高齢化などの農業生産構造自体の変化や
消費者の安全・安心志向の高まりを背景とした農作物の流通自体の変化

★TSPって・・・？

※詳しくはコチラ！ ⇒ <http://www.i-nouryoku.com/link/tsp.html>

TSPとは「トータル・ソリューション・プロバイダー(Total Solution Provider)」の略。住友化学グループの農業関連資材・サービス、栽培技術、経営ノウハウから農産物販売までを提供することで、農業の全ての分野において農業生産者の皆様を総合的に支援します。

【TSPにかかわる住友化学アグログループ関連事業・会社・事業内容】

- 住友化学(株) (肥料・農薬・農業経営支援システム)
- サンテラ(株) (ハウス資材・農POフィルム)
- 住化農業資材(株) (栽培技術・灌水資材・野菜の種子&苗)
- (株)住化分析センター (土壌分析・栄養成分と残留農薬の分析)
- 日本エコアグロ(株) (農産物販売・作物の選定&販売支援・肥料設計・栽培指導)

総合解決提案！

★住化ファームって・・・？

※詳しくはコチラ！ ⇒ <http://www.sumikafarm.com>

住友化学が運営する農業法人の名称です。

★住化ファームの狙いは、自身が主たる生産者となることではありません。あくまで、**地域農業の活性化の一助となること**であり、同じ志を持つパートナーと集い、ともにこれからの農業を作っていくことです。

★住化ファームでの経験を通じて、安定品質・高付加価値を実現する栽培技術の確立・標準化を目指しています。また、流通・販売の分野で新しいチャネルを作り出すことが可能になります。こうした試みの成果は、全国の生産者の皆様にノウハウとして提供できます。

★その意味で、住化ファームは**新しい農業のための実験・実証の場**です。特に生産技術に関しては生産者と親密なコミュニケーションをとることができ、各社の資材を有効に利用した総合的な農業支援が可能になります。また、農場経営は雇用の創出にもつながります。ひいては後継者の育成にも役立ち、**地域貢献**の幅に広がりをもたせることができます。

【現在の住化ファーム】

- (株)住化ファーム長野 (長野県中野市／いちご)
- (株)住化ファームおおいた (大分県豊後大野市／トマト)
- (株)住化ファーム山形 (山形県中山町／トマト)
- (株)住化ファーム三重 (三重県志摩市／みつば)
- (株)住化ファーム茨城 (茨城県守谷市／キャベツ)

今年設立！
がんばっています

次頁いよいよ住化ファーム
おおいたの紹介です！ ⇒



住友化学アグログループTSPの取組みと住化ファームの紹介ということで、第3回目は、栽培開始から4年目の「住化ファームおおいた」をご紹介します。



農場長 佐々木 昭二さん

★カンパリトマト栽培のファームおおいた

今回は、農場長の佐々木さんにお話を伺いました。佐々木さんの実家は、ファーム近くで稲と麦の二毛作をしている農家です。小さい頃より農業に慣れ親しんできましたが、次男であるため一旦は農業とは関係のない職種に就いたもののやはり農業に興味があったことから、住化ファームおおいたの社員募集に応募しました。ファームでは安全でかつ安定した収穫が出来るトマト作りを目指しています。栽培方法を実証する試験圃場として、試験で培ったノウハウやデータを農家さんへ開示しています。出荷先は、東京・九州の大手スーパーや地域の道の駅などです。10月下旬から収穫を始め正月まで需要期を迎えま

す。(訪問日：10月17日)

ファームおおいたは、自然と文化が数多く残る豊後大野市にあり、今から9万年前に起きた阿蘇山の大噴火による火砕流痕を今に残す雄大な大地に囲まれています。

★Q ターン整技法を採用

ハウスでは、専用容器内の土で栽培する隔離土耕栽培を行っています。

この方法では、土壌病害を抑えられ、生産の修得期間が早くなります。養分と水分は、点滴灌水チューブで必要とする分だけ自動的に与えています。収穫が終わる頃にはカンパリトマトの茎は全長10mほどにも成長します。栽培から1か月で1mに成長した枝を垂直に下に引っ張って折り返すかたちで成長させます。その様子がアルファベットのQの様にみえることから「Qターン整技法」と呼ばれています。

住化ファームおおいた 概要

設立日	2009年12月10日
住所	大分県豊後大野市三重町宮野字細長88番地
出資者	住友化学㈱ 大分ゼネラルサービス㈱
事業内容	トマトの生産・販売
農場長	佐々木 昭二
就労構成	20名（男性7名、女性13名）
作物・品種	カンパリトマト（中玉トマト）
面積	栽培総面積約1ha (4棟のビニールハウス)
栽培暦	7月から準備⇒9月に定植 ⇒10月下旬から翌年6月まで収穫
栽培方法	隔離土耕栽培 溶液栽培 (Qターン整技法)
栽培本数	1号ハウス 6,300本 2号ハウス 5,600本 3号ハウス 5,600本 4号ハウス 700本
商品名	純果（すみか）育ち、豊後の恵み
販路	大分県内、首都圏スーパー、道の駅

★10月の栽培から土耕栽培も始めました

収穫量は、10aあたり16tほどの実績があり、今年は18tを目標としています。赤く熟れた頃に食べられるように収穫し、1パック4玉～8玉で出荷しています。これ以外の規格については、袋売りにするためロスが少ないそうです。11月上旬から翌年6月頃まで毎日収穫できるようハウスごとに日をずらして植え付けていました。今年からの取り組みとしては、個人農家さんが栽培の参考にしやすいように通常の土耕栽培も始めました。このハウスでは、苗は台木用トマト（品種：ポランチ）に、カンパリトマトを接ぎ木しています。台木用トマトは根が太いので養分・水分をたくさん吸うことができ、穂木のカンパリトマトの生育が促進されるそうです。見学した時には、受粉作業の省力化のためにマルハナバチを施設内に放したばかりでした。収穫量がどのくらいになるか今から楽しみです。

★ファームの環境と工夫

「住化ファームおおいた」での取り組みを写真でご紹介します。



【隔離土耕の様子】ハウスの中はとてもクリーンでした。病害虫を持ち込まないために、ハウスでの作業の際は、靴を履き替えたり、ハウスの棟ごとに担当者が決まっており、他の棟には出入りしません。（写真①）



【接ぎ木】苗は台木用トマト（品種：ポランチ）に、カンパリトマトを接ぎ木しています。苗は購入しており、その年によっていろいろ試しています。根が太く強健な台木専用品種にすることで、栄養を行き渡せるほか病害予防にもなります。（写真②）



【マルハナバチの巣箱にねずみ返し】マルハナバチの巣箱を吊っている鎖には、段ボールで作ったねずみ返しがありました。（写真③）

（製品生産企画部 丸山）

[目次へ戻る](#)

住化アグログループ紹介



レインボー薬品株式会社

<http://www.rainbow-f.co.jp>

あの人気アイテムが待望の復活!!

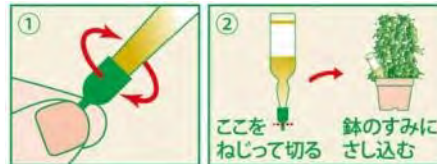
新商品「レインボーフラワー液α」

創業当時より皆様からご愛顧頂いておりました、元祖アンプル型植物活力剤「レインボーフラワー液」。2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、生産停止となっておりますが、皆様からの熱い支持にお応えし、このたび新商品「レインボーフラワー液α」として復活します!!

植物の活力剤「レインボーフラワー液α 33ml×12本入」



- ◎パッケージデザインは以前のイメージを踏襲し、ご愛顧いただいていた皆様にも分かりやすい!!
- ◎使い方も簡単!!
アンプルのキャップ先端をねじ切って、土に挿すだけです。



- ◎成分は各種微量元素に加え、新たに「海藻エキス」を配合しリニューアル!!

海藻エキスの特長

■4種類以上の多糖類を含有

土中の微生物を活性化し、植物の生育環境を改善します。

■18種類の微量元素を含有

植物の生育に必要な不可欠な微量元素を与えます。

■17種類のアミノ酸を含有

植物の体を構成するタンパク質の素を与え、生育を促進します。

◎こんなときにお使いください ～ 一年を通して、あらゆる植物に使えます ～

- | | | |
|-------------|--------------|-----------|
| ■現在の元気を保ちたい | ■夏バテを防止したい | ■日光不足 |
| ■花・葉の色がさえない | ■元気がない | ■耐寒性を強めたい |
| ■害虫がつきやすい | ■移植のため疲労している | |
| ■植物の生長がおそい | ■病気になるやすい | |

レインボー薬品のアンプルシリーズ



肥料アンプル

「花のささやき 30ml×10本入」



肥料アンプル

「緑のささやき 30ml×10本入」



活力剤アンプル

「グリーンアンプル 33ml×21本入」

レインボー薬品のアンプルシリーズで
元気な植物を育てましょう!!

レインボー薬品株式会社 東京都荒川区東日暮里6-60-10
お問い合わせ TEL 03(6740)7777 平日 9:00~17:00(土・日・祝日は休み)
URL : <http://www.rainbow-f.co.jp>

[目次へ戻る](#)

新

害虫の名前を知る方法

その①～イネの葉に残った食痕から犯人を推定する～

技術顧問 清水喜一



害虫名を知ることが害虫防除の基本であることは理解していただけていると思いますが、実際に害虫名を知るにはどうしたらいいのでしょうか。この質問をすると図鑑で調べる、もしくは、ネットで調べるという解答が多く寄せられます。しかし、本当に図鑑やネットで正確な害虫名が分かるのでしょうか。

図鑑で調べる場合、いわゆる絵合わせをして種名を推定します。しかし、よく似た模様の蛾やコガネムシは、たくさんいます。また、ある程度分類の素養がないとその昆虫が何に近いのかも分からないことがあります。カメムシの名前を調べるのに甲虫類の図鑑を探しても無駄というものです。苦勞をしても実を結ばないことが多々あります。

ネットでも同じです。画像1枚で検索できるような方法はありません。

最も確実な方法は、よく知っている人に聞くことなのです。最終的には植物防疫所、博物館、昆虫に関係する大学、研究機関等に同定を依頼します。昆虫の名前を確定することを同定と言います。重要そうな害虫が発生した場合はまず各県の農業改良普及センター、病虫害防除所等に持ち込むのが無難です。一般の方が昆虫の名前を知りたいときはネットの中で昆虫サイトを探しだし、質問コーナーに投稿するのがいいかもしれません。

害虫名さえ明らかになれば、その生態（発生時期、発生回数、寄主植物等）や防除方法（薬剤、散布時期、方法）は文献やネットでいくらでも調べることができます。害虫防除の中で害虫名を知るという作業が実は最も重要で大変な作業なのです。



写真1:スジシロキヨトウ幼虫



写真2:スジシロキヨトウ成虫

専門家でも全ての昆虫に精通しているわけではありません。私も以前、害虫の研究をしていましたが、時には名前の分からない害虫に遭遇します。写真1を見てください。これは、以前に私が水田で発見した蛾の幼虫と思われるイモムシです。イネの葉を食べていたので水稻の害虫と考えられましたが、どんな水稻害虫図鑑にもこんな幼虫は載っていません。イネの葉を与えて飼育してみたところ、幸いなことに特徴のある成虫が羽化し、図鑑で調べてスジシロキヨトウ（写真2）と言う蛾であることが分かりました。イネ科植物が寄主植物になっていますが、今のところマイナー害虫のようです。分かるまでに結構な日数がかかりました。簡単なように見えて昆虫の同定は大変な作業なのです。

しかし、すべての同定作業が大変とは限りません。本人（虫）がいなくても加害虫を特定することができる場合もあります。また、いくつかの特徴を覚えていることで簡単に同定できることもあります。

簡単に種名が特定できるいくつかの害虫について解説したいと思います。
今回は、食痕から犯人が推定できる水稻初期害虫についてです。



写真3:イネの葉を食害する
イネミズゾウムシ成虫

水稻初期害虫としてはイネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、イネゾウムシ、イネヒメハモグリバエ等が知られています。このうち、前2種はほぼ同時期に発生し、2種が混発することも珍しくありません。また、両種とも年1回の発生で夏から冬までの長期間成虫で越冬、越冬し、イネの葉にはよく似た食痕を残します。

イネミズゾウムシは成虫がイネの葉を、幼虫はイネの根を食害します。越冬した成虫が田植え後に飛来して産卵します。イネの葉には成虫の食痕だけが残ります。イネミズゾウムシ

成虫は、前進しながら鼻に見える先端の口器でイネの葉を食害します(写真3)。裏側の表皮1枚を残した幅約1mm、長さ1~2cmの食痕が残ります。

よく見ると表皮1枚が残っているだけでその中に葉脈も残っていません(写真4)。

イネドロオイムシもイネミズゾウムシと同様に、田植え後に成虫が水田に飛来して産卵します。こちらは、成幼虫共にイネの葉を食害してイネミズゾウムシの食痕によく似た食痕を残します。成虫は前進しながらイネの葉を食害しますが、よく見ると首を90°曲げて葉脈間の葉

肉だけを食害しています(写真5)。裏側の表皮1枚は残すことが多いようです。従って、イネドロオイムシ成虫の食痕は、葉脈間だけの細長い食痕になります(写真6)。

イネドロオイムシ幼虫もイネの葉を食害し、自身の排泄物を背に乗せています。正式にはイネクビボソハムシと言いますが、通称のドロオイムシの名前はこれに由来しています。幼虫は横向きになってカニ歩きをしながらイネの葉を食害しますが、成虫と同様に葉脈間の葉肉だけを食害します(写真7)。従って、イネドロオイムシ幼虫の食痕は、一見イネミズゾウムシの食痕に似ますが、食痕の中に葉脈が残っていることで区別できます(写真8)。



写真5:イネの葉を食害する
イネドロオイムシ成虫



写真6:イネドロオイムシ
成虫の食痕



写真7:イネの葉を食害し始めた
イネドロオイムシふ化幼虫



写真8:イネドロオイムシ
幼虫の食痕

犯人がいない状態でも葉脈間だけの細長い食痕なのか、やや幅広い食痕でその中に葉脈が残っているか、残っていないかで3種の区別は容易です。来年の水稻移植後、このような食痕を見かけたら犯人を推定してみてください。害虫とは言え、こういうのって、分かれると結構楽しいですよ。

[目次へ戻る](#)

今月の肥料紹介

SUPER SR COAT

スーパーSRコート(SSR) + 液肥の組合せで、 ハウス半促成ナスの安定多収を実現



◎耕種概要

地域	甲信越地方	
作物	ナス(丸ナス)	
作型	3月下旬～7月下旬 (ハウス半促成栽培)	
肥料	元肥	SSR有機果菜用 812 初期抑制タイプ (N-P-K: 18-11-12) 240～280kg/10a
	追肥	スミライム (N-P-K: 7-0-3 + 苦土、マンガン、ほう素入り) 30～45kg/10a (2-3回に分けて追肥)

◎肥料の特長

●スーパーSRコート

被覆肥料を配合したスーパーSRコートを元肥に施用することで継続的にしっかりと肥効を保つことができ、追肥の回数を減らすことができます。

●スミライム(液肥)

スミライムに含まれる窒素は全て硝酸性なので、すぐに効果を発揮します。また、微量元素に加え、カルシウムも含んでいます。根の活力維持、成り疲れ対策にはスミライムの追肥が有効です。

◎現地試験結果 ～農家さんコメント～

- 途中経過 (7月5日) 試験区(SSR+スミライム)の方が茎が太く、生育が良好です。この調子でいけば、最後まで安定した収穫が期待できそうです。

<試験区>



<慣行区(化成追肥)>



- 栽培終了後: 思ったより十分に満足いく生育が続き、収量もとれました。来年はぜひこの施肥体系に切り換えたいと思います。

お問い合わせは 住友化学(株) アグロ事業部 肥料営業部まで 電話 03-5543-5783

[目次へ戻る](#)

今月のお奨め農薬

広食性害虫のオオタバコガの防除に

ディアナSC、プレオフロアブル

オオタバコガは広食性の害虫で、野菜ではトマト、なす、いちご、キャベツ、はくさい等、花き類ではきく、カーネーション、トルコギキョウ等を加害します。春先の発生は少ないですが、夏から秋にかけて増加し、8月頃から被害が問題になります。

オオタバコガはアフリカ、ヨーロッパ、アジア、オーストラリアに分布していて、東南アジアではワタの害虫として有名です。日本ではそれほど重要な害虫ではありませんでしたが、1994年夏の多発生以降は恒常的に様々な作物で被害が発生しています。既存の殺虫剤の効果は低く、防除が困難な害虫です。オオタバコガは飛翔能力が高いため、抵抗性系統が海外から大量に飛来した可能性が考えられています。

オオタバコガの卵は新葉付近に1卵ずつ産み付けられ、一晩に一頭の雌が200~300卵産みます。2~3日で孵化した若齢幼虫は葉の表皮を食害しますが、中齢幼虫になると植物体内に潜る性質が強く、花蕾や茎・果実内に食入し、中を空にすると次々と移動して加害します。1頭の幼虫が多くの果実を渡り歩いて加害するので、発生量が少なくても被害は大きくなります。ヨトウムシやハスモンヨトウは卵を塊にして産むのに対してオオタバコガは1卵ずつ産み付ける、オオタバコガ幼虫の体にはまばらに太い毛が生えているなどの違いがあります。オオタバコガは年間2~3世代発生します。地中浅く潜って蛹化し、越冬します。

オオタバコガの耕種防除法、物理的防除法には次のような方法があります。

- ① 施設栽培では開口部に防虫ネット(目合い4mm)を設置して、成虫の侵入を防ぎます。
- ② 黄色蛍光灯を設置して、成虫の飛来を抑制し、また成虫の交尾や産卵を抑制します。
- ③ 耕起によって土中の蛹は死亡するため、冬期および春期の耕起を丁寧に実施します。
- ④ 管理作業中などにほ場の観察に努め、新しい食痕や虫糞を見つけた場合にはその周囲を丹念に調べ、幼虫を捕殺します。
- ⑤ 摘心、摘花した脇芽や花蕾などに卵や若齢幼虫が付着していることが多いので、ほ場外に持ち出して処分します。

オオタバコガの防除にはディアナSCとプレオフロアブルをお奨めします。



○ディアナSCの有効成分スピネトラムは天然の殺虫成分スピノシンを構造変換した合成殺虫剤です。

(特長)(i)チョウ目害虫、アザミウマ目害虫、ハエ目害虫、コナジラミ類など幅広い害虫に優れた殺虫活性があります。

(ii)チョウ目害虫に対して、速やかな食害抑制効果を発揮し、被害の拡大を抑えます。

○プレオフロアブルは有効成分ピリダリルが昆虫の細胞に働き、殺虫活性を發揮します。

(特長)(i)チョウ目害虫、一部のアザミウマ類などに優れた殺虫効果を示します。

(ii)全く新しい作用性で、従来の殺虫剤に対して感受性の低下した害虫にも優れた効果を發揮します。



オオタバコガ幼虫

防除のポイントは次の通りです。

① 若齢幼虫期のうちに防除します。

中・老齢幼虫は花や果実に侵入するため、薬剤が虫体にかかりにくくなり、十分な防除効果が期待できません。

② 既存の薬剤には効力の低下しているものもあるため、薬剤散布後は必ず効果を確認します。
(鳥取)



[目次へ戻る](#)

良い農産物の作り方を考える②

i-農力だより No. 106 では“良いお米とは”について説明した。今回は栽培面での施肥の基礎について東京農業大学、渡辺和彦客員教授に説明していただく。

高温障害を施肥改善で克服、収量・収入大幅増・・・ある農事組合法人の事例

近年は高温障害による被害で、乳白米が発生し1等米比率が低下しやすい。新潟県のある農事組合法人でも、近年1等米比率が低迷していた。そこで資材の検討会議で提案された施肥設計による栽培法を一部でテストしたところ、好成績を示したので、その栽培方法に全面的に転換した。その結果、昨年（2012年）は施肥設計と気象条件がマッチしたこともあって、平均収量は10a当たり606kg、前年対比で売上げ額として28%アップと非常に良かった。年末の稲作打合せ会議は、農事組合法人の組合員達の感謝の言葉を述べてから始められたそうだ。この施肥設計はケイ酸とマグネシウムを上手く組み合わせた方法であった。組合員の心からのお礼の言葉となった施肥設計のポイントはどこにあったのであろうか。

高温障害対策と施肥の概要

高温障害対策として田植え時期を変え、登熟期にできるだけ穂を高温に遭遇させないことが、多くの地域で行われて成果を上げている。高温障害による白未熟粒の発生は、登熟期の窒素施肥の減らしすぎも大きな要因である。チッ素肥料に持続性の高い銘柄肥料の使用を指導されており、上記の事例では、それにプラスしてケイ酸やマグネシウムも上手に使われていた。しかし、ケイ酸やマグネシウムが稲の高温障害に効果のある理由はほとんど、知られていない。そこで本稿ではケイ酸とマグネシウムも高温障害防止にプラスに働くメカニズムを説明する。

追肥のケイ酸が効く理由

ケイ酸含有肥料を追肥に施用するのは容易ではない。ところが、2010年に全量1等米であった農家達は指導によりケイ酸の追肥を実施していたのである。水口から流し込めるタイプのケイ酸肥料も市販されている。追肥のケイ酸はイネの根から効率的に吸収されやすい。その理由を端的に示しているのが、図1の馬建鋒先生達が明らかにしたイネの生育時期別ケイ酸トランスポーターの根での発現量（活性）の推移である。

トランスポーターは、土壤肥料学を昔勉強された方には、聞き慣れない言葉だと思う。しかし、現在の肥料学、植物栄養学にとっては必須の新しい学問領域である。根からの養分吸収のみならず、生体内の転流・分配も個々の元素固有の細胞膜にある孔、トランスポーターを通じて行われている。一度細胞にできたトランスポーターも絶えず、分解・生成を繰り返している。田植え時期に多かったケイ酸トランスポーターもその後生育に伴い量的にも低下するが、出穂期以降急激に増加している。籾の生成にケイ酸が多量に必要なためである。近年の分子生物学研究の成果が現場の現象を説明してくれる。

なお、ケイ酸施用が稲の葉温を下げるクーラー効果については秋田県立大学の金田吉弘先生達が明らかにされている。また、重要なことであるが、元肥として施用しているケイ酸も無効では

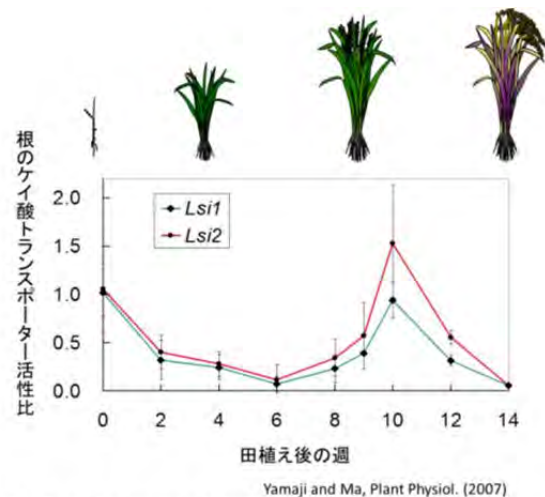


図1 稲の根におけるケイ酸トランスポーター(Lsi1とLsi2)活性比の推移

ない。出穂期以降良く吸収されるのであるが、追肥で施用するケイ酸が、ちょうどイネの根が口を開けて待っているので、少量でもより吸収されやすいのである。

根張り、モミの充実にマグネシウム

マグネシウムもイネの根張りをよくし、糖のモミへの転流をよくし白未熟粒の低減に役立つ。「窒素は葉肥、リン酸は実肥、加里は根肥」と言われるが、実はマグネシウムも加里と同じく、根肥である。その実験結果の一部を図2に示すように、マグネシウムが不足した植物の根は生長しない（詳細な機構は末尾に記載）。

マグネシウムが間接的に糖の転流に必須の役割をしていた。それが稲の根を大きくしたり、登熟期には子実のデンプン蓄積にプラスに作用していたのである。

以上をまとめると、追肥のケイ酸は稲に効率的に吸収され、葉温を低下し白未熟粒の発生防止に、マグネシウムは糖転流をよくし粒重増加に役立っていたのである。

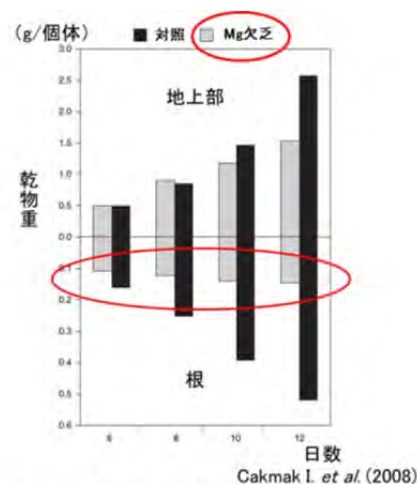


図2 Mg欠乏の地上部と根部乾物重への影響

(東京農業大学客員教授 渡辺和彦)

マグネシウムの糖転流に関わるメカニズム

～葉で生産された糖分は、マグネシウムの働きによって篩管に入り、初に蓄積される～

根や子実は、光合成をする葉からの養分を受け取らないと生長できない。そのため、図3に記載しているように根や子実は従属栄養細胞である。葉でできたデンプンはショ糖の形で篩管を通じて植物体全体、特に従属栄養細胞である根や子実に転流させる。ちょうどそれは動脈を通じて、血液を全身に通わせているのと同じである。血液が心臓の働きで転流できるのと同じく、植物ではそのポンプの役目を篩管への入り口の伴細胞がその働きをしている。葉で作られたデンプンはショ糖の形態になり、一端細胞の外に出る。そして、伴細胞から篩管の中へ入るのだが、中はショ糖でいっぱいである。濃度の高いところにショ糖が入るにはエネルギーの勾配が必要である。そのため、伴細胞はATPのエネルギーを使って、プロトン(H⁺イオン)を伴細胞から細胞外に出す。これをプロトンポンプと言う。一つのプロトンを出すのに一つのATPが必要だが、このATPは遊離のATP⁴⁻でなく、[ATPMg]²⁻複合体が働いている。すなわち大量のマグネシウムがATPと共に働いている。伴細胞や篩管の中は多くのプロトンが細胞外にでているので、そのプロトン勾配を利用してショ糖がプロトンと一緒に細胞内に入る。これを共輸送(シンポート)という。

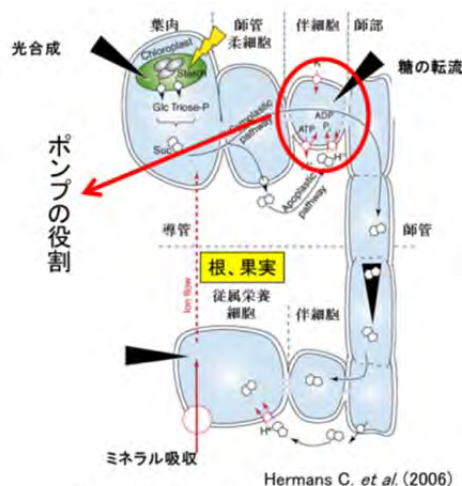


図3 作物体内における糖転流の仕組み

渡辺和彦(ワタナベカズヒコ) 元兵庫県立農林水産技術総合センター部長。東京農業大学客員教授(土壌肥料・植物栄養学)。兵庫県立農林水産技術総合センター農業大学校嘱託。植物栄養生理、微量元素の第一人者。食と農(ミネラルと人の健康)に深い造詣があり啓蒙中。著書に『土と施肥の新知識』『わかりやすい園芸作物の栄養診断の手引き』等多数。

[目次へ戻る](#)

農薬登録情報

12月18日の主な適用拡大の内容です

詳細はここをクリックしてください。

<http://www.i-nouryoku.com/prod/tekiyou/2013.html>

★適用拡大★

○除草剤

薬剤と変更日時	変更項目	適用作物	変更前	変更後
オサキニ1キロ粒剤 (2013/12/18)	作物追加	—	直播水稻	直播水稻 移植水稻
	使用方法追加	直播水稻	湛水散布又はごく浅く湛水して散布 (は種直後～ノビエ3葉期ただし収穫90日前まで)	湛水散布、ごく浅く湛水して散布又は無人ヘリコプターによる散布 (は種直後～ノビエ3葉期ただし収穫90日前まで)

(山脇)

[目次へ戻る](#)

ひげ仙人の

農薬を正しく使おう! ③



i-農力サイトに掲載している「[農薬の適正使用](#)」について、順にご紹介します。

農薬ラベルには何が書いてあるの? ②

農薬ラベルには、該当する作物名、病害虫名および雑草名などのほかに、農薬の使用基準や、安全に使用するための注意事項が記載されています。



●適用内容部分

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	総使用回数
きゅうり	アブラムシ類	1000倍	100～300L/10a	前日	5回以内
かんきつ	カメムシ類	1000倍	200～700L/10a	7日	本剤:3回以内 有効成分:4回以内

「総使用回数」とは「製品自体の使用回数」と「その製品が含む有効成分の使用回数」があり、そのどちらも回数をオーバーして使用することはできません。

- きゅうりは散布して1日(24時間)後に収穫可能
- かんきつは散布して7日後に収穫可能

- 一年生作物は種まきから収穫終了までの使用回数
- 果樹などの永年作物は収穫終了から次の収穫までの使用回数

次回は・・・「散布前のポイント」

ひまわり農園奮闘記⑨

ひまわり農園も師走を迎えて、霜柱が立つようになりました。

春に入園して、園主さんやベテランさんから野菜の作り方を懇切丁寧に教えていただきました。最初は、農園参加の皆さんについていけるか不安でしたが、きゅうり、トマト、なす、ピーマンなどが毎日収穫出来るようになると、周りの人よりも上手に作りたい欲が出てきました。当初、妻は農作業を手伝おうとしませんでした。大阪にいる息子の嫁に収穫した野菜を送ると、大変美味しいと喜ぶものですから、それ以後、積極的に手伝うようになりました。

さて、平成25年度ひまわり農園は来年1月末で契約が切れます。そして、3月から新しい年度が始まります。私は早々、継続手続きを済ませました。そのため今月で「ひまわり農園奮闘記」は一時中断します。そして、来年2月より再開します。予告ですが、野菜の播種や定植の準備などは今年の実験を活かし、タイムリーに掲載するようにします。そして、少しでも家庭菜園を楽しまれる会員の皆様にお役に立つ記事を目指しますので、ご期待ください。

▽11月30日(土):第15回講習会有り、内容は「冬野菜の管理と保存方法について」です。

白菜は寒くなると巻いた葉が開いてくるので外葉を麻ひもで縛る。里芋(京芋、八つ頭)は霜害になる場合があるので、芋全体が隠れるぐらいの穴を掘り、茎の切口を下にして、芋をバラバラに切り離さないでそのまま埋める。土を平らになるぐらいかけて穴の周りを踏み固めてから土を山盛りにする。早めに収穫する人は茎を切ってその上から土盛りする。人参は株元に土寄せする。キャベツ、白菜、ブロッコリーは鳥害を防ぐためにトマト用のネットを掛ける。おふくろ大根は地上部の白い部分が10cmぐらい、辛味大根は5cmぐらいで収穫する。午前中に大根を収穫するとひび割れしやすくなるので午後には収穫するとよい。京芋は地面より20cmぐらいのところまで切る。茎を食べるので上に芋がある。茎の周り20cmぐらいから掘る。芋を保存する場合は洗わないで日陰に置く。冷蔵庫には入れない。

▽注意事項:農園に来るのは12月から午後にする。寒くなると、水道、畑、作物が凍るため。農園の利用は1月31日(金)まで。

一口メモ ひまわり農園の魅力は手ぶらで行っても農作業が出来ることです。当農園設置の道具類や設備の一部を紹介します。

病虫害や作物に合わせた農薬と噴霧器(写真-1)が用意されています。肥料は化成肥料と消石灰(写真-2)が箱に備えられ、計量カップもあります。また、剪定鋏、移植ごて、土篩、草刈り鎌(写真-3)などもあります。灌水用のジョロやバケツ(写真-4)などもあります。堆肥置き場(写真-5)や野菜屑置き場、簡易トイレもあります。鍬やスコップなど畑を耕す道具も備え付けられています。そのようなものがキッチンとあることで、快適に作業ができます。(完)(古津)



写真-1



写真-2



写真-3



写真-4



写真-5

「ひまわり農園奮闘記」は今月で一旦終了し、2月に再開します。

[目次へ戻る](#)

読者からのお便り 自慢のこの一枚

7月号・9月号で募集しました、読者のみなさまからの「お便り募集」コーナーに、たくさんのご応募をいただきありがとうございました。テーマは「自慢のこの一枚」でした。どの写真も素晴らしいものばかりでした！その一部をご紹介します。



【お名前】匿名希望

【タイトル】イチョウ並木

【エピソード】

我が家から歩いて数分のところの通りは「上杉・愛宕（かみすぎあたご）線」といって、銀杏並木が仙台駅方面まで続いています。毎年、新緑や黄葉を楽しんでいる通りです。今年もこんな写真が撮れるといいなあ。毎年ため息がいっぱい出ます（笑）。見事すぎて。

【お名前】流山の一茶坊

【タイトル】流鉄三兄弟

【エピソード】

流山（千葉県）で観光ガイド（新撰組、一茶、みりん造りなど）をしています。流鉄は乗るのも撮るのも好きで、これは我が市が誇る「流鉄三兄弟」。左から「青葉」「あかぎ」「なの花」号です。このほかに「青空」「流馬」「流星」があり、本当は六人兄弟なんです。



【お名前】葛飾のマドンナ

【タイトル】柴又・帝釈天

【エピソード】

ウォーキングのイベントで行った時の写真です。中央のお二人が、寅さんとさくらみただったので、思わずパチリ。

【お名前】匿名希望

【タイトル】雨だからステキ？

【エピソード】

近くのバラ園で雨の日に撮りました。



【お名前】新川のプレイボーイ

【タイトル】スカイツリーと桜

【エピソード】

出勤前の散歩コースです。いつもは霧がかかっているスカイツリーも、この日はくっきり見えました。

ご応募ありがとうございました！

番外編

編集メンバーが撮影した写真です。



【タイトル】ひまわり農園の野菜たち
みそ炒めでいただきました。
採れたて新鮮でおいしかったです！



【タイトル】横浜港大さん橋からの夜景
カップルだらけの中、ちょうど船が
通り過ぎるところを激写しました。

[目次へ戻る](#)

普及部
木村の

気ままに鉄道



トライアスロンの旅

Vol.4

趣味のトライアスロンの練習距離を手持ち距離として全国の鉄道を気ままに旅するこの企画。前回は茨城県笠間市の笠間駅をスタートし、鹿嶋市の鹿島サッカースタジアム駅まで進みました。

11月も出張が多く満足のいく練習はできませんでしたが、前月よりは若干余裕ができました。単身赴任の木村は基本的に毎週末東京から大阪へ帰っていますが、11月は1回だけ週末を東京で過ごし、江戸川サイクリングロードでバイク練習をしました。江戸川沿いには色々観光できる場所がありますが、単身赴任寮の近くには寅さんと有名な「柴又帝釈天」や「矢切の渡し」があります。この周辺はねぎの栽培が盛んで、せっかくなのでねぎ畑をバックに愛車くんと記念撮影をしました。近くに観光施設があるにもかかわらず、ねぎをバックに記念撮影はなかなか恥づかしいものがあり、最初は強張った表情での撮影となりましたが、これでは記事にならないということで、少しだけニヤケてみました(なにせ一人撮影なので、ねぎ畑のおっちゃんに精一杯不審がられました。気にしたら仕事はできません←仕事ちゃうか。。。)。ということで(?)、練習距離はスイム 6.2km、バイク 50km、ラン 18km となり、この距離をそれぞれの競技の負荷を考慮した指定の計算式(※)に当てはめると、手持ち距離は約 287km と算出されました(前月の4倍である！)。

さて、鹿島サッカースタジアム駅から南へ進み海岸沿いまで進むと、なんと！！見事に行き止まりです。再度スタート地点に戻り、鹿島線を成田方面へ進むと Vol.1 で通過したようなしなかったような香取駅に到着し総武本線へ入ります。この企画が始まってから総武本線は何回乗ったことでしょうか！つまらなすぎる気持ちではありましたが、総武本線を東京方面へ進みます。東京をよくご存知の方は経験されているかと推測しますが、都内に入ると蜘蛛の巣状に路線があり、鉛筆を倒して進む方向を決めていると腱鞘炎になります。腱鞘炎を起こしても記事にならないので、ここはルール変更！ということで、秋葉原で総武本線から中央本線に乗り換えひたすら西の方向へ進むことにしました。287km は結構な距離で、なんと茨城県から山梨県に到達し、山梨県笛吹市の石和温泉駅が今月の終着駅となりました！今月はマンネリ化防止の意味を込め、意図的に週末の記事を長めにしました。来月は、日本一の桃とぶどうの産地笛吹市をご案内したいと思います！

※ 手持ち距離 = (SWIM 練習距離 × 26.6) + (BIKE 練習距離 × 1) + (RUN 練習距離 × 4)



進路概要

(一部正確ではないところがあります)



ねぎ畑で無理してニヤける木村

[目次へ戻る](#)



工場紹介

第1回

大分工場

おかげさまでi-農力だよりは100号迎え、創刊より10年が経ちました。そこで新企画として、これまであまり掲載してこなかった弊社の工場を随時ご紹介していきたいと思えます。

第一回目として、1939年に操業を開始して以来74年目を迎え、従業員も若返り、活力いっぱいの大分工場をご紹介します。大分工場は主に、農薬の有効成分（原体）を生産しています。生産された原体は別の工場で製品化されるので直接農家さんの目に触れることは少ないかもしれませんが、環境や安全に対する努力と徹底した品質管理のもと信頼性の高い製品を生産しています。今回は工場の生産企画部、レスポンスブルケア（RC）部（品質管理）、第九製造課、農薬製剤を生産している関係会社の大分ゼネラルサービス㈱（OGS）の皆さんに話を伺いました。（写真①）

ご安全に！

これは工場での挨拶です。朝礼の最初と最後、仕事中等で普段よく使用しています。何よりも安全第一！の気持ちそのまま挨拶となっています。安全操業は言うに及ばず、周囲の環境へも配慮し、また従業員の健康管理にも留意するために、工場では様々な取り組みを行っています。具体的にどんなことをしているのかを伺いました。

安全操業のため朝礼や昼夜勤の交替時は、皆で『安全十か条』を読み上げ、その後体操を行い一人ひとりの体調管理も心がけています。万一の設備のトラブルを最小限にとどめるため、機械には二重にも三重にも安全装置が働くしくみとなっています。



「壁に貼られているスローガンと共に」

左奥より生産企画部の舛友さん、吉山さん、RC部の城戸さん。左手前よりOGSの宮崎さん、九課の房前さん。房前さんは、機械管理において若者の指導にあたっており、スーパーバイザー的存在です。

工場で使用する水は大野川から取水しています。チームや製造工程で使用された後は徹底的に浄化しています。工場排水に残る僅かな有機物も取り除くため、焼却処理をしていると伺い驚きました。

地域の皆様のご迷惑にならないように、臭い防止対策などにも積極的な取り組みをしています。臭いの発生源の密閉化や、臭いのあるガスから臭気除去をするスクラバー脱臭装置を使用しています。（写真②）

工場は、1日3交替勤務で、一年間休みなく24時間365日稼働しています。忘年会や歓送迎会などはどうし



スクラバー脱臭装置

ているのか伺ったところ、全員が参加できるように同じ会を2回に分けて行うなど生産を止められない工場ならではの対応をするそうです。

子供を持つ従業員が安心して働けるように、工場内にすみかキッズおおいたという保育施設を設ける予定です。働きやすい環境作りの取り組みにも力を入れています。

従業員の健康管理では、日頃は計器室でモニター画面とにらめっこしている時間が長いなど体を動かすことが少ないため、昼休みには、工場内にあるグラウンドで出来るだけ体を動かすよう心掛けています。また休みの日には地の利を活かしてゴルフや釣りを楽しみ、リフレッシュをしています。

工場内には、歴史的な記念碑も！

構内には、熊本藩が、江戸時代の寛永年間(1624-1643)に設置したという番所跡に石碑があります。参勤交替や物流の拠点として船の往来も頻繁にあり、この番所で監視をしていたそうです。(写真③)

昭和33年(1958年)に、昭和天皇と皇后陛下が大分工場をご巡幸された時の記念碑もありました。昭和29年(1954年)に生産を開始した農薬パラチオンはその当時の当工場の主力製品であり、戦後の食糧不足の時代に、農業を通じて我が国の食糧増産に大きく貢献したことでご巡幸先として選ばれました。



大分工場内にある熊本藩川口番所跡

地域社会の一員として

大分工場は、地域社会の一員として、地域とのコミュニケーションを大事にしています。取り組みをいくつかご紹介いたします。

工場のある鶴崎地区の国指定無形民俗文化財“本場鶴崎踊大会”にかかさず参加しています。毎年8月の旧盆直後の土・日曜日の夜に、鶴崎公園グラウンドで開催される鶴崎踊の大会です。参加チームにそろいの衣装を着てやぐらの周りを幾重にも囲み輪になって踊る、衣装など見た目にも華やかな催しです。今年は、残念ながら豪雨で中止となりましたが、昨年“住友化学”のチームは、『OAB(大分朝日テレビ)賞』をいただきました。(写真④)

地域向け広報紙として“つるさき”を年2回発行しています。ボランティア活動、表彰者、安全操業や周辺環境に対する取り組み、製品の紹介など、大分工場についてより理解を深めていただくため積極的に地域に情報開示をしています。



「本場鶴崎踊大会」の様子

ピンク色衣装で踊っているのが、住友化学のチームです。他から参加されるチームも、それぞれに豪華な衣装で踊っています。

あとがき

工場内の緑の多さに驚きました。工場を中心、東西を走るメインストリートは、“くすのき通り”と呼ばれる美しい並木道が広がっていました。過去、CMに使われた事もある納得の風景で、手入れも行き届いていました。取材日の10月17日は秋晴れで、木漏れ日がとても気持ちよかったです。また、工場を囲っているのは、“緑の塀”でした。地域と工場が共存していこうとしている姿が見えました。

(製品生産企画部 丸山)

次回は製剤工場の「下松工場」(山口県)です。どうぞお楽しみに・・・!



[目次へ戻る](#)

お知らせ

農薬セミナー開催報告 & 次回は大阪!

11月、12月と2回にわたり、東京本社で農薬の安全性についてのセミナーを開催しました。農家さんを対象としたセミナーでしたが、たくさんの方にお集まりいただき、講師の説明にもかなり熱が入りました。また質問コーナーでは参加者それぞれのご相談に一つ一つお答えし、さながら座談会のように盛り上がりました。

そこで次回は**2月7日(金)**に、大阪で開催します! 「1000倍希釈液ってどうやって作るの?」「同じ成分が入った農薬の総使用回数って何?」といった基本的な疑問から、ADIの説明や衛生・不快害虫に使用する殺虫剤との違いなど、わかりやすく丁寧にご説明します。また質問コーナーでは個別の質問にも全てお答えしますので、農薬のプロに相談し、日頃の疑問をスッキリ解決してください。参加者全員に弊社総合カタログ「農薬ガイド」および粗品をプレゼント! お気軽にご参加ください!



[セミナー詳細はこちら](#)

[目次へ戻る](#)

アグログループ 通販のご紹介

日本エコアグロ株式会社

「熊本県特集」

今回も産地直送で色々とお届けします！

通販サイト【Web エコアグロ】からのお知らせ



熊本県といえば、最近では「あの」ご当地キャラクターを連想される方も多いと思いますが、当社にとりましては農産物の産地化を目指すにあたり様々な活動を最初に取り組んだ言わばスタート地点であり、思い出の多い土地です。

これから一段と寒さが厳しくなる時期ですが、熊本県の各地ではすでに大玉トマトなどの出荷が始まっており、(他県でももちろん同じですが)寒波と戦いながら栽培に従事される生産者の方々のおかげで、冬場も美味しい農産物が食卓に上ります。当社の営業担当も頻りに現地を訪問し、栽培計画や商品企画、或いは流通等について何かとお手伝いさせていただいております。(画像は、コナジラミ対策などハウス内の防除状況をチェックしている当社 K 部長です)



いつも美味しく迎えてくれる葦北(あしきた)・・・

熊本県には八代、玉名、植木、宇城、菊地、その他数え切れないほど優秀な産地がありますが、今回は県の南部に位置する葦北の産品をご紹介します！

- ♪【大関米】葦北連峰の主峰「大関山」の名水を使い標高の高い土地で丹精こめて育てた自慢のお米です。

<http://item.rakuten.co.jp/nihon-ecoagro/10000042/>

- ♪【甘夏 KISS】海岸に向かって傾斜した地形と温暖な気候を利用した栽培が行われ、今では葦北は日本でも有数の甘夏の産地です。

<http://item.rakuten.co.jp/nihon-ecoagro/10000040/>

- ♪【デコポンゼリー】デコポンファンの方にはたまらない逸品です。

<http://item.rakuten.co.jp/nihon-ecoagro/10000041/>

- ♪【太陽の食卓セット】葦北の特産品である「サラたまちゃん」を使用したこだわりのドレッシング。地元ではすっかり定番です。

<http://item.rakuten.co.jp/nihon-ecoagro/10000043/>

商品に関するお問い合わせ：

東京都中央区八丁堀 4-5-4

日本エコアグロ(株) 通販担当 電話 03-3523-8280



[目次へ戻る](#)

編集メンバーの

ゆく年くる年



今年も一年、様々な出来事がありました。編集メンバーも自身を振り返り、反省しつつも楽しい思い出に浸っているようです。来年はもっとみなさまに喜んでもらえるサービスをご提供できるよう、決意表明も兼ねたそれぞれの思いをご覧ください。

お盆に帰省した時、自宅に思いがけなく舞い込んだ訪問者がありました。その訪問者はノコギリクワガタ(水牛型)です。周囲を山川草木に囲まれた自宅を離れ1年の内の多くを東京で過ごしています。夏に甲虫を求めて森の酒場に行く機会がなく久しくクワガタムシに会っていませんでした。大事に育ててもらいましたがその彼も先日11月中旬に帰省した時になくなり、庭の木の下に埋葬し冥福を祈りました。まだ本格的な冬が来ていないのに蝉が鳴く季節を鶴首待望しています。(黒田)



10月に着任して、早くも3か月が過ぎたというのが、今の実感です。

働くというのは、傍(はた)を楽(らく)にすることだそうです。つまり、周りの人を楽にし、楽しくさせるというのが、本来の働くという意味だそうです。残念ながら私はまだその領域までには達していません。来年は少しでも働ければと思っています。

来年は午歳ということで、すべてがウマく行くようになればよいと思っています。(稲葉)

私ごとで恐縮ですが、時々テニス仲間ですべ会を楽しんでいます。市公民館の調理場を借りて、みんなで買い物や料理、後片付けなど手分けします。私はそば打ちを教えながら人数分ほどを打ちます。男の手料理ですので、すこし恰好は不細工ですが、それを肴に酒を酌み交わしワイワイと賑やかです。テニス談義は勿論ですが、色々な話題で盛り上がります。料理の締めはそばですが、その頃になると出来上がっている人も何人かいます。

最近こんなことがありました。我が倶楽部の最長老Yさんが無事米寿を迎え、そば会でお祝いしました。その席で、日本伝統の雅楽を先祖代々受け継ぐUさんが、横笛や箏(ひちりき)を演奏し、そのうえ唄まで披露してくれました。それに呼応するかのように、3人が唱歌や詩を吟じたり、俳句を披露するなど、Yさんの米寿のお祝いが大いに盛り上がりました。

このようにそば打ちを通して、来年も色々な人と繋がりが持てればいなぁと思います。そして、ゆったりした気持ちで日々の電話対応が出来ればと考えています。(古津)

今年の6月から相談員をしています。

住友化学の農薬部門では、普及・登録を担当し、その後、この十年余りは、安全対策を中心にかかわってきました。

今年は、お客様からの具体的なお質問に答えるまでの調査に時間を要していましたが、その後、農作物などの登録上の名称、病害虫雑草の防除方法などレベルアップを図ってきています。

これからも、お問合せいただいた方が満足していただけるような回答ができることを目指していきます。

また、来年からはi-農力だより等でも記事を執筆していきます。よろしく願っています。(花井)



本年9月末よりお客様相談室でお世話になっています。住友化学に入社以来、研究を皮切りに国内および海外における開発・普及・販売等、一貫して農薬ビジネスに関わってきました。アグロ事業部普及部の仕事は39年ぶりですが、当時と比べて市場が拡大する中で、川下への展開、新製品やM&Aによる品目数増加や事業規模拡充など、大きく変化しています。「毎日が学習であり、自己発見の機会」を信条に、お客様に満足していただけるよう40有余年の経験や知見を活かしながら、月水金はさまざまな電話相談に対応して行きたいと思っています。(笹山)

「今年何ができたかな！」とゆく年を送り、「今年何をしようかな！」とくる年を迎えます。

仕事関係を横に置くと、今年はゴルフをまじめに練習した成果が出て、自己新のスコアを出しました。伸び代はまだあると思っているので、今後も練習は続けます。

くる年には、過去2シーズンの試行を生かして、家庭菜園をまじめにやろうと考えてます。もう一つ、大学時代の友人2人と会った際に、即興の五七調の歌作りに圧倒されました。来春の再会までに歌心を養おうと考えてます。(鳥取)

私の出身地である三重県四日市では、お雑煮は切り餅に尾張地方で一般的な小松菜に似た「もちな」を入れたすまし汁に鰹節をかけて頂きます。最寄駅の四日市駅から名古屋駅まで、急行で35分ですから、尾張圏内に入るのでしょう。でもうどん出汁は関西風です。

今年の正月は、京都の姉、山形の弟も集まるので久しぶりに賑やかになりそうです。

一年の計は、字をゆっくり書くようにすることです。メモを取るときはしかたないですが普段は、ゆっくり書くときれいに見えるかと友人から教わったからです。(鈴木)



今年は暑い夏に人も作物もへばっているところに、何度も台風が襲来し、大変な被害を蒙られた方も多かったとおもいます。外交や内政も騒然し、落ち着かない一年でした。先日農業関係の新聞に演歌歌手福田こうへいさんの記事が掲載されていました。福田さんは岩手県雫石町の出身で水稻を中心にした農家だそうです。福田さんのヒット曲は私もカラオケでよく唄います。特に「あれをごらんよ真っ赤な夕日、落ちていくのにまだ燃えている」の一節に元気づけられます。この唄のようにトコトン諦めない新年を迎えたいと思います。(山脇)



i-農力だより編集担当になって、はや1年が経とうとしています。前任の思いを引き継いで頑張ってきたつもりですが、まだまだ至らないところも多く、ご迷惑もおかけしました。

一番の楽しみは農家さんの取材で生の声を聞けることです。行くと必ず何かしらひらめき、何とか紙面やサービスで実現できないかもがいています。農作物の知識も徐々に増えてきました。最近では商店街の八百屋でおいしい野菜の見分け方を実践し、店員に不審がられています(笑)。どれも農家さんが丹念に作っているんだなあと思うと、ごみの量が減りました。来年はもっといろんな場所で、マイナー野菜の取材にも挑戦したいと思っています。プライベートではバジルと一緒にトマトを育ててみたいです!(太田)

今年は皆さんにお読みいただき、100号を迎えることができました。ありがとうございました。

来年も農家さん訪問に伺い、たくさんのお会いや貴重なお話をお伝えできたらと思っています。

最近ではスーパーのお惣菜の数も増え、便利なのですがつい買ってしまおうのですが、たまにはご飯をお鍋で炊いてみたり、ぬか漬けをつけてみたりと、時間をかけゆっくり愛情込めて作ることをしたいなと思っています。

これからご飯用の土鍋を探すのも楽しみです。来年もよろしく願います。(阿部)



山脇

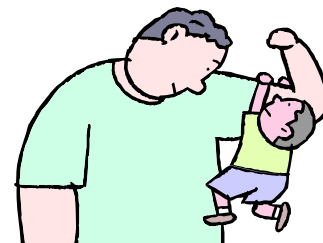
よい年をお迎えください

[目次へ戻る](#)

～編集後記～



鈴木さんのキャベツ畑を訪問した時に最も驚いたことは2つです。1つ目は、米作の後の水田でキャベツの栽培ができるということ、2つ目は、なんととっても取り立てのキャベツを頼張る時の3人のお子さんの笑顔です。私は小さい時から田んぼが身近にありましたがお米の後作に野菜を栽培しているのを見たことがありませんでした。水田の水を上手に切り、キャベツを栽培するとは本当に素晴らしいアイデアだと思いました。しかも、あんなにおいしい(甘い)キャベツなんですから。2つ目のお子さんの笑顔、これは本当に素晴らしいと思いました。農家さんの全てのお子さんがあのようにご両親が栽培した野菜を食べて喜んでくれれば日本の農業も、当然形は変わっていくでしょうが、将来は明るいと思います。



鈴木さんのお仕事からも多くの驚きを得たのですが、私は今回、初めて掛川を訪問しお茶を畑間近に見ることができ、お茶にも花が咲き、実ができること(あたりまえですよ)を初めて知りました。休憩所では「深蒸し茶」を初めていただきお抹茶のような味わいに驚かされました。また、少しではありましたが地元の方からお話をお聞きすることもできました。これが、「農家さん訪問」の楽しみですね。これからも是非全国の農家さんを訪問させていただき、新たな発見と驚きを感じていきたいと思っています。(品質保証室 藤田)

農家さん訪問記でキャベツ栽培農家取材しました。

キャベツは年間通して身近にある野菜ですが、その歴史、種類および加工・業務用キャベツについて調べてみました。

キャベツの原産地はヨーロッパの地中海、大西洋の沿岸で、紀元前600年頃にケルト人によって栽培された野生種のケールがルーツです。当時のキャベツは現在と違って玉は作りませんでした。現在のような葉を巻く形になったのは約1000年前です。日本では江戸時代の末期から栽培が始まりましたが、本格的な栽培は明治になってからであり、戦後食生活の洋風化とともに急速



に消費が伸び、今では食卓に欠かせない野菜になっています。

キャベツには寒玉(冬系)、春玉(春系)、グリーンボール、芽キャベツ、紫キャベツがあります。また、花を食べるカリフラワーやブロッコリー、肥大した茎を食べるコールラビ、鑑賞用の葉ぼたんはキャベツの親戚です。

近年、加工・業務用途の野菜消費が増加していますが、キャベツでは全キャベツ生産量の約半分が加工・業務用です。比率の高さに驚きです。

加工・業務用キャベツは、生食用とは違い、加工時の歩留まりや作業性が重視されます。

加工・業務用に適したキャベツは結球部に葉がよく詰まった寒玉系品種で、肥大性がよく、切除する芯部の小さい品種です。生食用キャベツの適当な大きさは1玉が1~1.6Kg(L・Mサイズ)ですが、加工・業務用は歩留まりと作業性から1玉が2~2.5Kgがよいとされています。

主要県の農業試験場での加工・業務用キャベツ作りのため、品種選抜、栽培技術(栽植密度、施肥技術)、収穫および輸送の効率化についての検討状況を知り、品種、作型の変化に伴う病害虫の発生動向の変化に注意を払う必要性を感じました。(鳥取)

次月号の i - 農力だよりは
1月31日(金)の発行予定です。
どうぞお楽しみに!!

[目次へ戻る](#)